

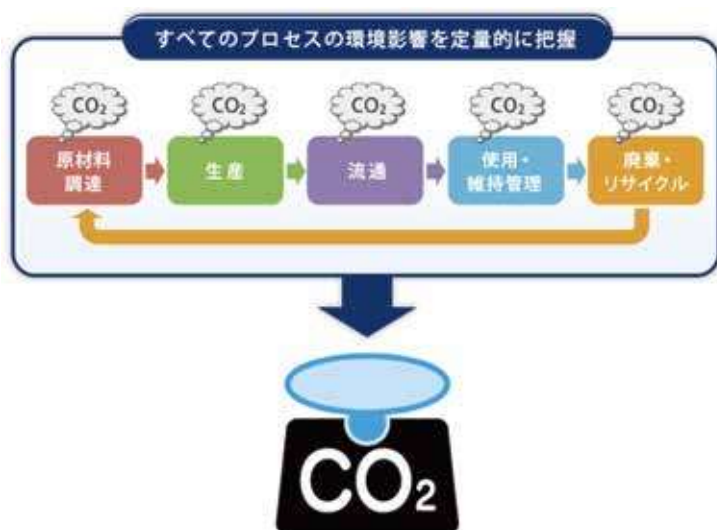
カーボンフットプリント

●カーボンフットプリント (CFP : Carbon Footprint of Products) とは

商品やサービスのライフサイクル (原材料調達⇒生産⇒流通⇒使用・維持管理⇒廃棄・リサイクル) 全体を通して排出される温室効果ガスの排出量を CO₂に換算して、商品やサービスにわかりやすく表示する仕組みです。

経済産業省が 2023 年 3 月に公表した「カーボンフットプリント レポート」によると、海外では消費者のサステナビリティに対する意識が高く、表示義務化に向けた検討も始まっています。

「カーボンフットプリント」の仕組み



出典) CFP プログラム

製品の表示例

The Adizero x Allbirds 2.94 kg CO₂e、新登場。

adidasと知恵を出し合い、地球環境にも優しい超軽量パフォーマンスシューズを開発しました。



出典) 経済産業省
「カーボンフットプリントガイドライン (別冊)」

●カーボンフットプリント算定・開示のメリット

カーボンフットプリントを算定・開示する事業者は、サプライチェーン全体での CO₂排出量を把握することで、削減余地の大きい工程を洗い出し、一体的な削減が可能になります。

また、消費者は、低炭素な商品・サービスを選択することで、社会全体の脱炭素化に貢献することができます。

●カーボンフットプリントの今後

国内では現在のところ、中小企業による取組は限定的ですが、今後、サプライチェーン全体でカーボンフットプリントの算定・開示を求められるケースが増加すると見込まれており、実施に向けた準備が求められています。

カーボンフットプリントのより詳しい情報は「しずおか産業創造プラットフォーム」のマガジンにて提供しています。

